

1 単元名 なつとなかよし

なつはおもしろいことがいっぱい いろいろなしゃぼんだまができたよ

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、大単元「なつとなかよし」の中の小単元であり、学習指導要領の以下の内容に基づいて設定されたものである。

(6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

本小単元では、身近にある自然を利用したり、身近にあるものを使ったりして、遊び自体を工夫したり、遊びに使う物を工夫して作ったりすることが主な活動である。遊びはそれ自体が楽しいことであるが、そこに友達との関わりがあることでさらに楽しいものになる。友達と協力して遊びが実現され、ときに競い合うことで遊びが更に充実する。友達と関わり合うことで、約束やルールが大切なことや、それらを守って遊ぶと楽しく遊ぶことができることに気付いていく。遊びを通してさらに、友達によさに気付くこともできる。自分の遊びと友達の遊びを比べ、その違いを見付けたり、相手の意見を聞き、自分の遊びに取り入れ、遊びが充実する経験を通して、相手の意見を尊重する態度も身に付けたりすることができるようになる。このような活動を通して、友達との関わりを広げ、交友関係を深めていく。

「なつはおもしろいことがいっぱい」では、身近な素材を工夫して遊び道具を作り、しゃぼん玉遊びや水遊び、砂遊びを楽しむとともに、友達と関わりながら自分だけのおもちゃで遊ぶ喜びを味わわせて、その面白さや不思議さに気付くようにしていきたい。そして、家族や友達と夏をより楽しく過ごすことができるようにすることをねらいとしている。

(2) 児童の実態 (省略)

(3) 指導観

児童の実態から、しゃぼん玉遊びを経験したことがない児童がいるため、まずは教師が用意したストローやハンガーなどを使ってしゃぼん玉遊びを経験させる。全員がしゃぼん玉の色や大きさなどを体感することで、次はどのようなしゃぼん玉を作りたいかというイメージを広げられるようにしたい。その際には、「しゃぼんだまをとばすどうぐを作ろう」とするのではなく、「ひみつどうぐをつくって、ゆめをかなえよう」など発問を工夫することで、児童がわくわくした気持ちで取り組めるようにしたい。

学習の見通しをもたせるために、作りたいしゃぼん玉を作るにはどうしたらよいか、どんな道具を使ったらよいか、必要な道具をワークシートに記入させたり、友達のアイディアを紹介したりすることで、自分なりのひみつ道具が作れるようにしたい。

ひみつ道具を作る場面では、「大きいしゃぼん玉」「たくさん出るしゃぼん玉」「かたちしゃぼん玉」の様に、飛ばしたいしゃぼん玉ごとにグループを作り、それぞれの場所を設ける。作る途中で、グループでの話し合い活動を取り入れることで、うまくいかなかった時のことを伝えたり、自分の道具と友達の道具を比べたりして、児童同士で気づきを共有したり、友達と協力したりする活動の楽しさを味わうことができるようにしたい。さらに、発表が苦手な児童も、グループごとの活動にすることで、自分の思いや考えを伝えることができるようになる。さらに、発表が苦手な児童も、グループごとの活動にすることで、自分の思いや考えを伝えることができるようになる。

アリーナ内は道具を作る場と試す場を設定する。試した後すぐに改良ができるようにすることで、試行錯誤しながら活動できるだろう。

3 単元の目標

夏の自然を利用したり、身近にあるものを使ったりして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫して作り、それを利用した遊びの面白さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。

4 指導と評価の計画

単元「なつとなかよし」

総時間 14 時間

小単元「さいばい はなややさいがもっとおおきくなったよ」

2 時間

小単元「なつはおもしろいことがいっぱい」

12 時間

・くふうするとたのしいあそびができるね

3 時間

・いろいろなしゃぼんだまができたよ

5 時間扱い (本時 3/5)

時配	学習内容と学習活動	評価規準(観点)【方法】
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ストローやハンガーなどでしゃぼん玉遊びをし、どんなしゃぼん玉を作りたいか考える。 ・必要な材料や道具を考え、ワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びに必要な材料や道具などを考えて準備している。(思考・判断・表現)【ワークシート】
2	<ul style="list-style-type: none"> ・持ってきた材料や道具を使って、ひみつ道具を作る。 ・話し合いの時間をとり、気付いたことを共有する。 ・友達の道具と比べ、自分のひみつ道具の改良点を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が作りたいしゃぼん玉を飛ばす方法や道具を考えたり試したりしている。(思考・判断・表現)【行動・つぶやき】 ・友達の道具を見て、よさに気付いている。(知識・技能)【発言・ワークシート】

3 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよくなるように、ひみつ道具を改良する。 ・話し合いの時間をとり、気付いたことを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が作りたいしゃぼん玉を飛ばす方法や道具を考えたり試したりしている。 (思考・判断・表現)【行動・発言】 ・友達の道具を見て、よさに気付いている。 (知識・技能)【発言・ワークシート】
4	<ul style="list-style-type: none"> ・作ったひみつ道具を使って、外でしゃぼん玉遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・しゃぼん玉遊びに関心をもち、友達と楽しもうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)【行動・発言】
5	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の振り返りをする。 ・これまでの活動中に撮った写真を見て、どんな活動をしたか振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物を使って遊ぶ道具ができることに気付いている。 (知識・技能)【発言・ワークシート】 ・遊びの面白さに気付いている。 (知識・技能)【発言・ワークシート】

- ・かぞくとなつをたのしみたいね 1時間
- ・アサガオさん いつまでもいっしょだよ 3時間

5 本時の指導(3/5)

(1)目標

道具を改良して遊ぶ活動を通して、友達の道具と比べたり交流し合ったりして友達の道具のよさに気付くとともに、道具を作り直したり飛ばし方を変えたりしようとしている。

(2) 展開

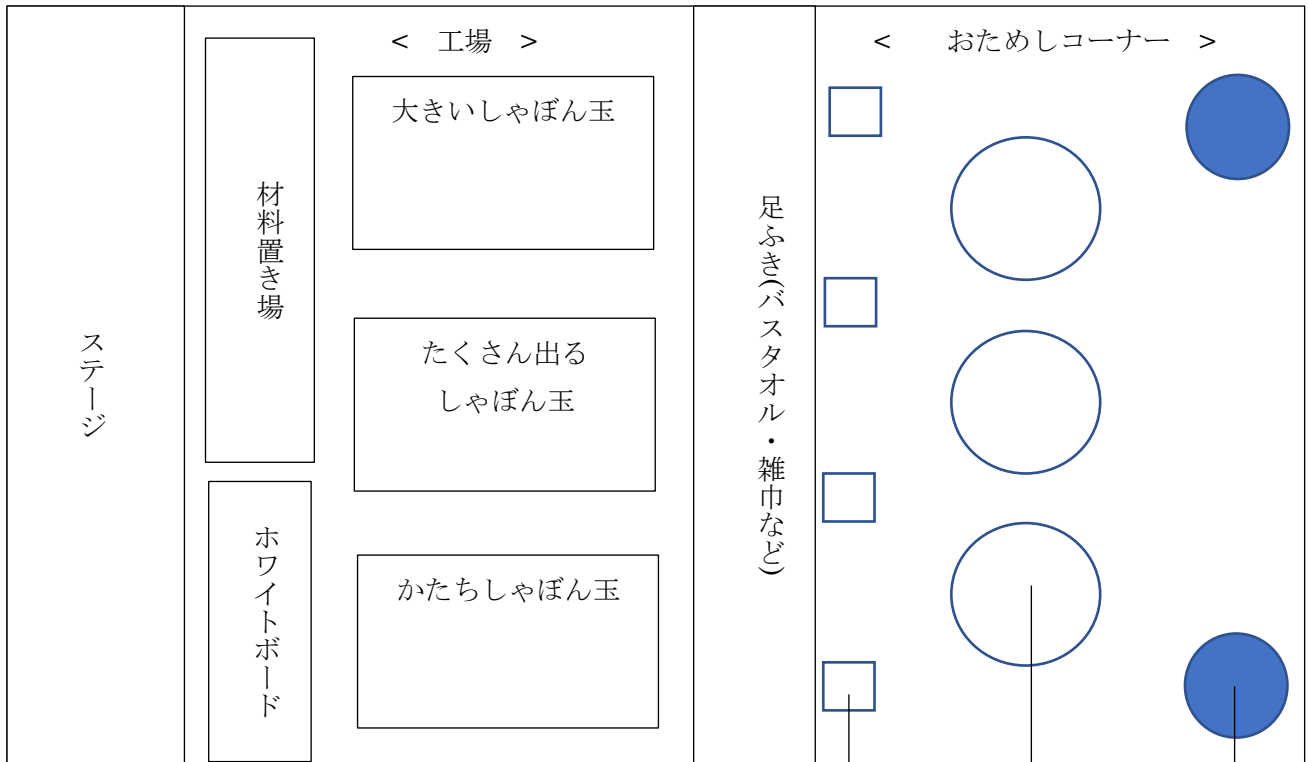
時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価(観点)【方法】	資料
3	【見いだす】 1 前時の学習を振り返り、本時の学習内容を知り、めあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りで書いたことを確認し、自分の道具をもっとよくしたいという意欲がもてるようにする。 	学習計画表 ワークシート
もっと〇〇なしゃぼんだまをとばせるように、ひみつどうぐをかいらいようしよう！			
3	【自分で取り組む】 2 どんなどころを改良するのか、同じグループの友達に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の改良点を聞くことで、道具を作る際の参考にできるようにする。 	
3	3 活動の注意点を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に注意点を確認し、安全に活動できるようにする。 ・児童が自分で準備した材料だけでなく、誰でも自由に試せる材料を用意し、改良するための試行錯誤がさらにできるようにする。 	ホワイトボード

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・しゃぼんだまをとばすのは、おためしコーナーだけ。 ・おためしコーナーをでるときは、あしをふいてから。 ・どうぐは、ぞうきんでふいてから、こうじょうへ。 ・どうぐのかいりょうは、こうじょうでする。 ・あるいて、いどうする。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・材料は工場中央に置き、自由に使えるようにする。 	
1 5	<p>4 ひみつ道具を改良する。 「ストローを束にしてみよう。」 「もっと大きな穴があるものをさがそう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工場(作る場)とおためしコーナー(試す場)を設け、試行錯誤できるようにする。 ・3つの工場(作る場)を設け、同じグループの友達と相談しながら作れるようにする。 ・進んでいる児童には、1つだけでなく複数作ってもよいことを伝える。 ・手が止まっている児童には、どんなしゃぼん玉を飛ばしたいか聞き取り、アドバイスをする。 	<p>材料 たらい しゃぼん液 雑巾 ブルーシート</p>
6	<p>【広げ深める】</p> <p>5 現段階のひみつ道具の状態をグループの友達に伝え、友達の道具と比べたり、アドバイスをし合ったりする。</p> <p><大きいしゃぼん玉> 「ハンガーをつなげたら、大きいしゃぼん玉が飛んだよ。」</p> <p><たくさん出るしゃぼん玉> 「もっとたくさんストローをくっつけたらいいと思うよ。」</p> <p><かたちしゃぼん玉> 「モールをハートの形にしたら、ハートの形のしゃぼん玉が飛ぶと思うよ。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の道具でいいなと思ったところがあれば自分の道具に取り入れてもよいことを伝える。 	

10	<p>6 話し合いを生かし、もう一度改良する。</p> <p>「大きなしゃぼん玉を飛ばしたいから、優しく吹いてみよう。」</p> <p>「速く腕を振って動かしたら、たくさんしゃぼん玉ができるかな。」</p> <p>【まとめあげる】</p>	<ul style="list-style-type: none"> しゃぼん玉で遊んだ時のことを思い出させ、道具だけでなく、飛ばし方も工夫することを意識させる。 ○自分が作りたいしゃぼん玉を飛ばす方法や道具を考えたり試したりしている。 <p>(思考・判断・表現)【行動・つぶやき】</p>	
3	<p>7 振り返りカードに記入し、本時の振り返りをする。</p> <p>「穴がたくさんあるものをつかうと、たくさんしゃぼん玉ができる。」</p> <p>「〇〇さんが言ったとおり、モールをつなげたら、形ができた。」</p> <p>「ゆっくり吹いたら、大きなしゃぼん玉ができた。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りの前に、ひみつ道具を拭き、簡単に手を洗わせる。 何を書いたらよいかわからない子には、友達からアドバイスをもらったことなどを個別に聞き取って言語化したり、友達の気付きを紹介したりする。 友達の道具を見て、よさに気付いている。 <p>(知識・技能)【発言・ワークシート】</p>	ワークシート
2	<p>8 次時の活動について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次回は外でしゃぼん玉遊びをすることを伝え、期待感がもてるようにする。 	

(3) 板書計画

<p>③ もっと〇〇なしゃぼんだまをとばせるように、ひみつどうぐをかいりましょう！</p> <p>～ がくしゅうのながれ ～</p> <p>① グループでつたえる。</p> <p>↓</p> <p>② ひみつどうぐをつくる。</p> <p>↓</p> <p>③ グループでつたえる。</p> <p>↓</p> <p>④ ひみつどうぐをつくる。</p> <p>↓</p> <p>⑤ ふりかえりをする。</p>	<p>～ やくそく ～</p> <ul style="list-style-type: none"> しゃぼんだまをとばすのは、おためしコーナーだけ。 おためしコーナーをでるときは、あしをふいてから。 どうぐは、ぞうきんでふいてから、こうじょうへ。 どうぐのかいりょうは、こうじょうでする。 あるいて、いどうする。
---	--



ステージ

床にブルーシートを敷く

道具をふく雑巾

しゃぼん液のたらい

手洗い用の水たらい

しゃぼんだまあそび ～ ひみつどうぐをつかって、ゆめをかなえよう！ ～

なまえ: _____

ふいかえりカード

ひづけ	いっしょにかつどうしたひと	くふうしたところ ・ がんばったところ ともだち（～さん）からもらったアドバイス ともだち（～さん）のひみつどうぐのいいところ